

# いわて スーパーキッズ Superkids U12 U15 通信

令和5年3月  
活動記録

いわてから世界へ

## いわてスーパーキッズ発掘・育成事業「修了式・開始式」

3月21日（火・祝）、都南文化会館大ホールにおいて「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業『修了式・開始式』」が開催されました。

### 主な出席者

〔修了生〕	小学6年生	32名	中学3年生	36名
〔認定者〕	U12	31名	U15	16名
〔参列者〕	知事、岩手県文化スポーツ部部長、岩手県教育委員会事務局保健体育科総括課長、 （公財）岩手県体育協会副会長兼理事長、プロジェクトチーム委員長、川村海さん			



新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力いただき、無事に式典を開催できました。修了生以外の在籍キッズの皆さんには、オンデマンド配信の視聴をしていただきました。

式典では、知事より修了生・認定者一人一人に修了証、認定証が授与されました。続いて、激励メッセージでは、スーパーキッズ6期生で関西電力ボート部の川村海



さんに、自身の経験を踏まえ、全てのキッズにとって、これからの指針となるとても貴重なメッセージをいただきました。その後、修了生代表として、小学6年生の栗谷川堯士さん、中学3年生の富岡里帆さん。認定者代表として、小学4年生の野月佑隼さん、小学6年生の松田夏輝さんが決意表明を行いました。4人とも、力強いとても立派な決意表明でした。修了生、認定者の皆さんも、代表者と同じように



<修了生代表決意表明>

それぞれの決意新たに式を終えました。

ご協力いただきました参列者の皆様、スタッフの岩手大学スポーツユニオンの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



<認定者代表決意表明>



<6期生 川村海さん>





<修了生（中学3年生）>



<修了生（小学6年生）>



<認定者（U12）>



<認定者（U15）>



「叶えよう！自分の夢を！！」

## いわてスーパーキッズ発掘・育成事業「寄贈品の受贈と感謝状贈呈式」



「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業『修了式・開始式』」に続き、「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業『寄贈品の受贈と感謝状贈呈式』」が開催されました。

今回、いわて盛岡シティマラソン実行委員会様には、スーパーキッズ事業に賛同した大会参加者より寄付を募っていただき、本事業で使用する高機能タイム計測機を寄贈いただきました。また、トヨタ L&F 岩手株式会社様及び寄附事業に賛同いただいたお客様からは、今回のスーパーキッズ認定者にスポーツマルチケースを寄贈いただきました。

式では、寄贈者代表の高橋一仁様（いわて盛岡シティマラソン実行委員会事務局長・トヨタ L&F 岩手株式会社代表取締役社長）より知事に目録が贈呈され、その後、知事より高橋様に感謝状が贈呈されました。

今後のスーパーキッズ事業で、大切にに使わせていただきたいと思います。関係の皆様にご心より感謝申し上げます。



今年度最後のプログラムとなるU12 スペシャルスクールとU15 プログラムが、3月5日（日）に行われました。

## U12 スペシャルスクール:第6回目 IN 大船渡市民体育館

### 【知的能力開発プログラム】

5年生は「スポーツの力」、6年生は「競技との向き合い方」と題して、仙台大学の藤本先生より講義を受けました。キッズは、1年間で書き込まれた自身の過去のノートを見返しながら、これまでの学びを振り返り、さらに確かな学びにしていました。



### 【知識獲得プログラム(保護者サポートプログラムを兼ねる)】



いわてスポーツ栄養研究会の先生方より、今年度学んだ栄養に関するまとめを行いました。5年生は、「1年間学んだことの振り返り」「補食の取り方」「日誌の書き方の確認」、6年生は、「2年間学んだことの振り返り」「間食・補食」「中学生に向けて」「まとめ」の内容でお話をいただきました。

### 【身体能力開発プログラム】

岩手陸上競技協会の先生方から、スピードを主としたランニングスキルトレーニングを学びました。①姿勢づくりをし、弾む体にする。②股関節の可動域を大きくする。③前方向に効率よく体を進めるための腕振り、足の回旋の動きづくりの順でトレーニングに取り組みました。



♪キッズの振り返りより♪

- ・去年は難しくてできなかったことを今回は、しっかりやることができ良かった。どうすれば速く走ることができるかなどを知ることができた。家でできることをしっかりやりたい。(小6)

## U15 プログラム:第 12 回目 IN 大船渡市民体育館

### 【フィジカルプログラム】

U15 プログラムでも、U12 同様に岩手陸上競技協会の先生より、スピードを主としたランニングスキルトレーニングを行いました。



速く走るためのポイントとして、「重心移動」と「はじめの一步」を挙げ、具体的に教えていただきました。キッズは、ポイントについて理論的に学びながら、トレーニングに取り組んでいきました。また、筋力トレーニングとなる腕立てや腹筋、軸づくりとなる

ジャンプ、腕ふりの仕方、スキップからのスプリントなど、テンポよく次々と取り組むキッズたちの姿に4月からの1年間の成長が現れていました。



### ♪キッズの振り返りより♪

- ・人間が走ることができる原理や、自分が速く走るためのコツを知った。走る時に、体のどの部分に力が入っているのかが分かった。地面との弾力を足に働かせれば良いということを知った。それに、自分は足が速くないので、皆からおいていかれてしまったが、そんな時に「誰が相手なのか」と考え、自分と向き合って運動ができるようになったと思った。今までの自分を越えられた気がして嬉しかった。(中1)
- ・「ランニングスキル」について学びを深めた。最初のお話で、「走ることは重心を移動すること」だということを知り、なるほどと思った。バランスとアンバランスの関係など、走る前段階の動作のコツを身に付けられたらと思う。ただひたすら動くのではなく、しっかりとした根拠の上で動きを実践できた。自主練習の時に、学んだことを活かしたい。これが、U15最後のプログラムだった。この5年間は、とても貴重な経験となった。(中3)

### 【知識プログラム(中1)※保護者も一緒に聴講】

いわてスポーツ栄養研究会の先生方から、「食生活と栄養」について、2回目の講義がありました。「食事の基本型(主食、主菜、副菜、牛乳・乳製品、果物)」「間食・補食」「食事のタイミング」「試合のときの食事」の4つのテーマについて具体的に教えていただきました。

### ♪キッズの振り返りより♪

- ・今日のプログラムでは、大会が来シーズンに迫っていることもあって、試合時の食事にとっても興味を持った。今までは、大会の前日ぐらいからしか食事をしっかり意識したことがなかったけれど、大会の3日前からはご飯中心の食事をすることでスタミナを保った状態で大会に臨めると知ることができ、大会の試合数や日数に合わせて、その量や何をどのくらい食べるか考えて準備していきたいと思った。また、試合後の補食は疲労回復のために大切で、炭水化物をとることでさらにその効果があると知ることができたので、試合が終わっても気を抜かず、次へ向けて考えて補食をとっていきたい。



## 【最終報告】バイアスロン

昨年度から進められている競技別コンソーシアムによる地域パスウェイ整備事業の「バイアスロン競技」は、今年3月で事業終了となります。対象となったスーパーキッズ中学1年生西館陽里さん、米倉恵美子さん、大村優奈さん、修了生の西館朱里さんには、この2年間で、NF・PFコーチにより習熟度に応じて、スキー及び射撃等についてきめ細やかな指導がなされてきました。パスウェイ整備事業については終わりになりますが、「バイアスロン競技」の事業としては、来年度以降も進められる予定となっています。着実に力を付けてきた4名のこれからの活躍が楽しみです。

今年度も、キッズ・保護者・指導者・スタッフなど多くの皆様に新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力いただき、事業を無事に終えることができました。

また、今年度もご指導いただきました県内競技団体・指導者の皆様のおかげで、キッズたちは大きな歩みを進めることができました。本当にありがとうございました。